

# 令和3年度 村岡中学校だより(号外6) 令和3年9月27日発行

ふるさとを愛し、自他を大切に、志高く未来を切り拓く生徒の育成

5月27日に実施された全国学力・学習状況調査の結果が8月31日に公表されました。本校の概要を報告します。

## 【国語】

- 全体として、全国や県の平均を上回っている。
- 4領域「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の中では、「話すこと・聞くこと」の正答率が高い。
- 「読むこと」の正答率がやや低く、これは全国や県の傾向とも一致する。
- 全国や県の傾向と同じく「記述式」の正答率が低く、問題文に複数の条件がある場合、そのうちの一つの条件を満たさない解答が見られる。
- 文脈の中でその言葉がどのような意味で使われているのかを判断せず、言葉の代表的な意味だけで解答している場合がある。

## 【数学】

- 全体として、全国や県の平均をやや上回っている。
- 4領域「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の中では、「数と式」の正答率が高い。
- 「関数」「資料の活用」の正答率がやや低く、全国や県の「図形」の正答率が低い傾向とは異なる。
- 「選択式」の正答率が全国や県よりもやや低い。
- 無解答が3割以上あり、全国や県よりもやや高い。

## 【生徒質問紙】

- 「生活習慣・学習習慣」および「規範意識」についてはポイントが高く、全国や県と比較しても高い。
- ほとんどの生徒が「朝食を毎日食べる」、「どちらかと言えば食べる」と回答している。
- 「就寝や起床時刻がほぼ決まっている」生徒の割合は年々高まっている。
- 「自己有用感」についても、全国や県よりもやや高い。
- 「夢や希望を持つ」、「失敗を恐れなくて挑戦する」、「困っている人を進んで助ける」、「人の役に立つ人間になりたい」、という生徒の割合も年々増加している。
- 「平日の学校以外での学習時間が1時間以上」の生徒がほとんどである。
- 「地域行事へ参加する」、「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」生徒の割合が年々高くなっている。
- 「話し合い活動で自分の考えを深めたり広げたりしている」、「自分で課題を立てて情報を集め整理して調べたことを発表する」生徒の割合が年々高くなっている。
- 「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」、「問題がわからない時あきらめずにいろいろな方法を考える」生徒の割合が年々高くなっている。
- ほとんどの生徒が「学校に行くことが楽しい」と回答しているが、「学校に行くことが楽しいと思っていない」生徒もわずかではあるが一定数ある。
- 家で読書をしたり新聞を読んだりする習慣がない生徒が半数程度いる。(全国や県と比較すると割合は少ない方である。)
- 学校で、コンピュータなどのICT機器を意見交換や調べたりするのに使っている割合は、全国や県と比較すると低い。
- 授業以外で日常的に英語を使う機会がほとんどない生徒が半数以上いる。

全教職員が課題について共有し、教科の学習を中心にすべての教育活動を通して課題解決に向けた実践を積み重ねてまいります。